

# 業績ハイライト

## 平成28年9月中間期の決算

平成28年9月中間期(平成28年4月1日～平成28年9月30日)の決算は、経常収益につきましては、前年同期は繰入であった貸倒引当金が当中間期は戻入に転じたこと等により、前年同期比2億7百万円増加の242億68百万円となりました。経常利益および中間純利益につきましては、与信関連費用が減少した一方で、資金利益や債券売却損益の減少および退職給付数理差異償却の増加等により、経常利益で前年同期比23億85百万円減少の23億48百万円、中間純利益で前年同期比12億64百万円減少の18億53百万円となりました。

## 預金・貸出金等の状況

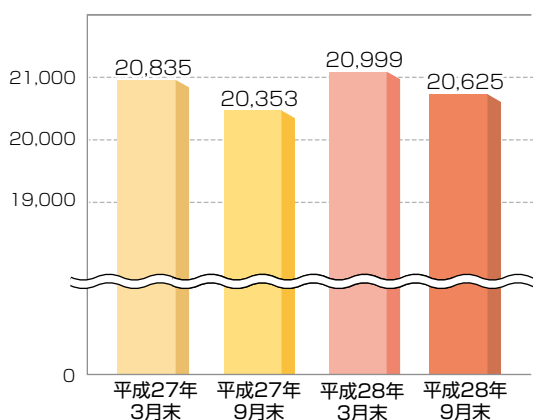
平成28年9月末の総預金残高は2兆625億円となり、前年同期比272億円増加、平成28年3月末比374億円減少しました。また、個人預かり金融資産残高は2,957億円となり、前年同期比107億円増加、平成28年3月末比37億円増加しました。

平成28年9月末の総貸出金残高は1兆4,212億円となり、前年同期比547億円増加、平成28年3月末比69億円増加しました。

(注)個人預かり金融資産残高は、投資信託、生命保険、公共債の合計であり、外貨預金は含んでおりません。

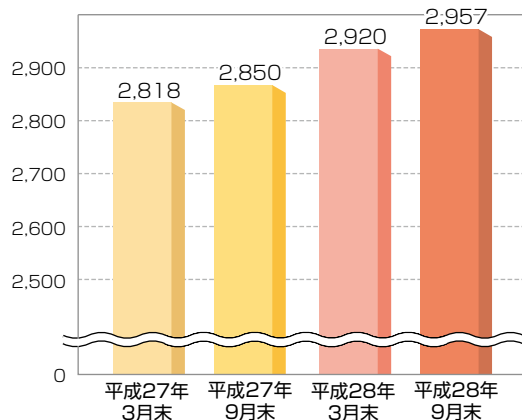
■預金残高

(単位：億円)



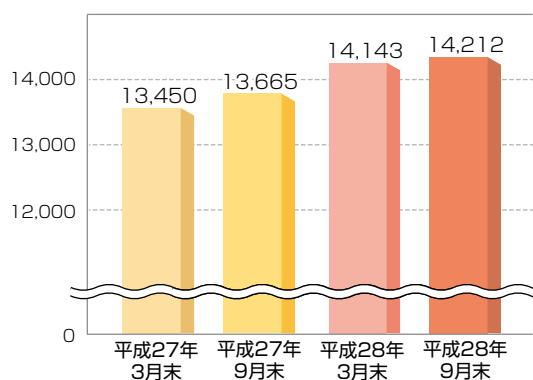
■個人預かり金融資産残高

(単位：億円)



■貸出金残高

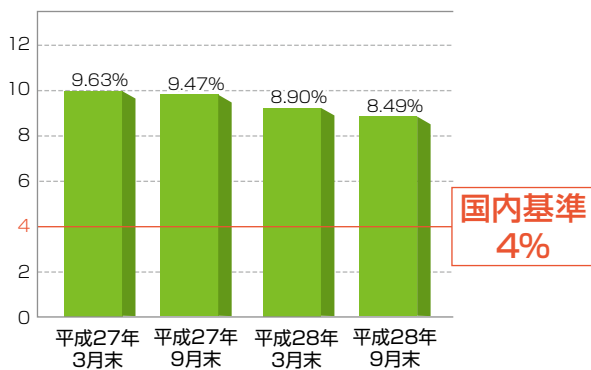
(単位：億円)



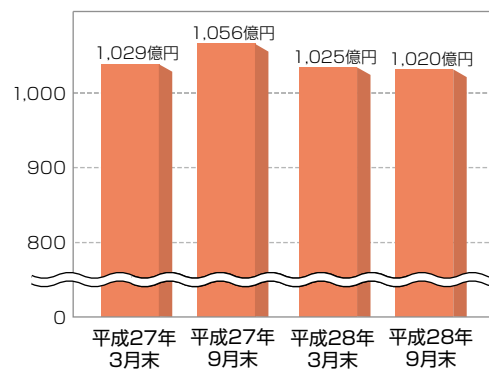
## 自己資本比率

- 平成28年9月末の自己資本比率(国内基準)は、利益の積み上げによる自己資本の増加がありましたが、他方で法人・中小個人向け等の貸出金増加によるリスクアセットの増加や劣後ローンの返済による自己資本の減少があり、前年同期比0.98%ポイント、平成28年3月末比0.41%ポイントそれぞれ低下し、平成28年9月末では8.49%となりました。

■自己資本比率(国内基準)



■自己資本額(国内基準)



## 不良債権の状況

- 債権総額中に占める金融再生法開示債権(いわゆる不良債権)の比率は、平成28年3月末の2.54%が平成28年9月末には2.55%となりました。
- なお、当行は部分直接償却を行っておりませんが、部分直接償却を行った場合のこの比率をみますと、平成28年9月末で2.33%(平成28年3月末では2.20%)となっております。

■平成28年9月末の不良債権の状況

